『眼科診療における感染対策ガイドブック』を用いた 眼科領域における標準予防策の現状と課題



Y NPO法人HAICS研究会 眼科感染対策(IPEC)プロジェクトチーム HAICS ○細田清美 兵頭涼子 大音清香 網中眞由美 小野和代 渋谷智恵 谷村久美

■◆はじめに◆■

眼科診療においては、患者の粘膜に直接触れる機会が多く、交差感染や職業感染のリスクが高いため、

手指衛生の遵守および個人防護具(以下PPE)の適切な使用は眼科領域における感染対策として重要である。

眼科診療における感染対策の現状を把握するため、『眼科診療における感染対策ガイドブック』[※](以下、ガイドブック)を用いて、 ガイドブックで示す感染対策と現状を比較し調査した。明らかになった手指衛生およびPPE着用の実態と課題について報告する。

※『眼科診療における感染対策ガイドブック』NPO法人HAICS研究会と日本視機能看護学会によって発行

■◆方法◆■

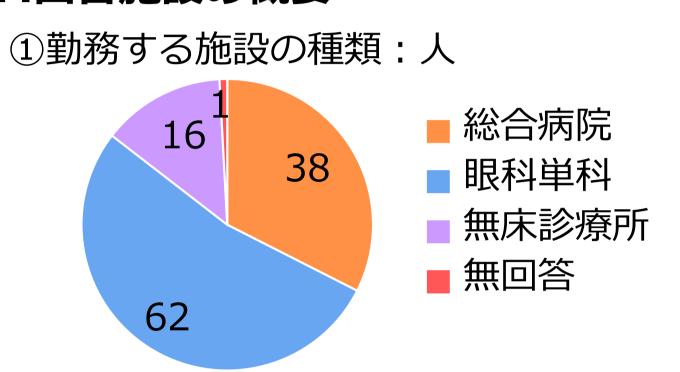
対 象;第31回日本視機能看護学会に参加した眼科診療関係者。

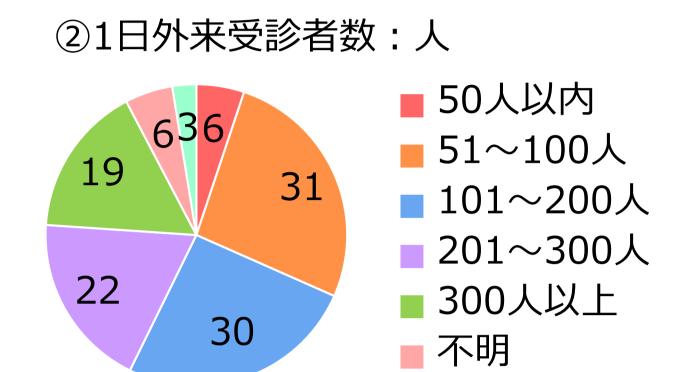
法;ガイドブックとこれに沿って作成した自記式無記名調査票を配布。

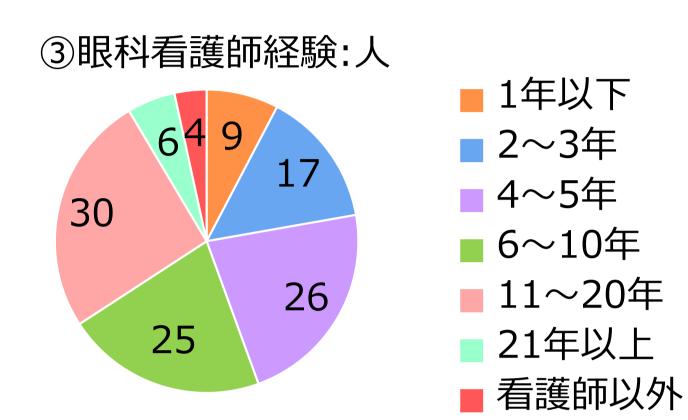
調査票への回答は自由意志とし学会期間中に会場内で回収した。

■ ◆結果 ◆ ■ 調査用紙の回収数 117枚(N=117)

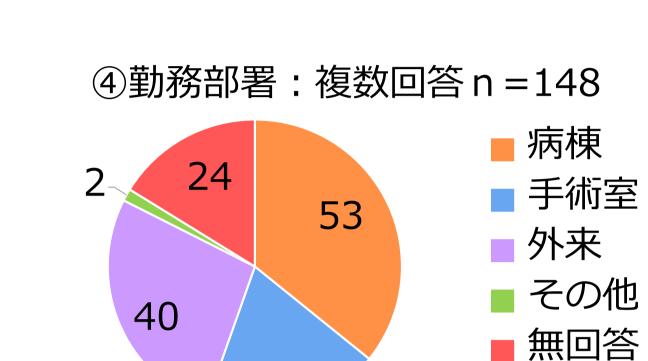
I.回答施設の概要







*手洗いまたは手指消毒の一連の手技で実施できていない場面



・標準予防策に基づいた感染対策の重要性

・医療器材の洗浄・消毒・滅菌

=CONTENTS=

・手指衛生

・個人防護具

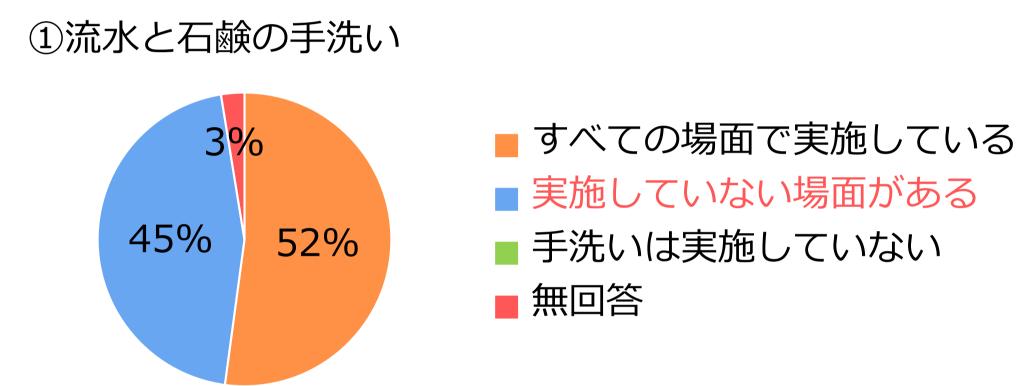
・環境衛生管理

・注意すべき感染症

7%の回答者で病棟、外来、手術室の 複数部門が勤務部署であった

₩ NPO法人 HAICS 研究会

Ⅱ.手指衛生の方法



②速乾性擦式アルコール製剤による手指消毒



複数回答 n =107 0% 10% 20% 30% 40% 複数回答 n =192

■ 1.手を流水で流してから液体石鹸を適量手にとる ■ 2.手のひらをこすり合わせて、十分に泡立てる ■3.手のひらを合わせて、指の間まで洗う ■ 4.両手の指先を洗う

■ 5.手の甲に手のひらを合わせて、指の間まで洗う ■ 6.親指を手のひらで包み、指の先まで洗う ■ 7.手首をもう片方の手で包み、ねじり洗いする

■ 8.流水で十分にすすぎ、完全に水分を拭き取る 50%

■ 1.適量のアルコールを手にとる

■ 2.手のひらを丸めて液をため、指先をアルコールに浸す

■ 3.反対の指先も同様に浸す

■ 4.手のひらを合わせて指の先まで擦り込む

■ 5.さらに指の間にもよく擦り込む

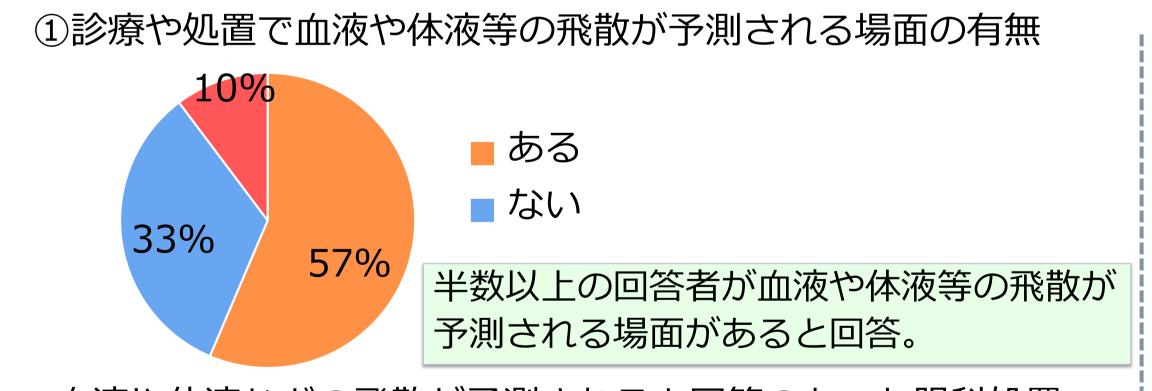
■ 6.手の甲に手のひらを合わせて、指の間に擦り込む

■ 7.親指を手のひらで包むように擦り込む

■ 8.手首をもう片方の手で包み、ねじるように擦り込む

手指衛生の不足しがちな部分と言われている指先・指間の手指衛生が十分に実施できていないといった認識を持っている。

II. PPEの着用について

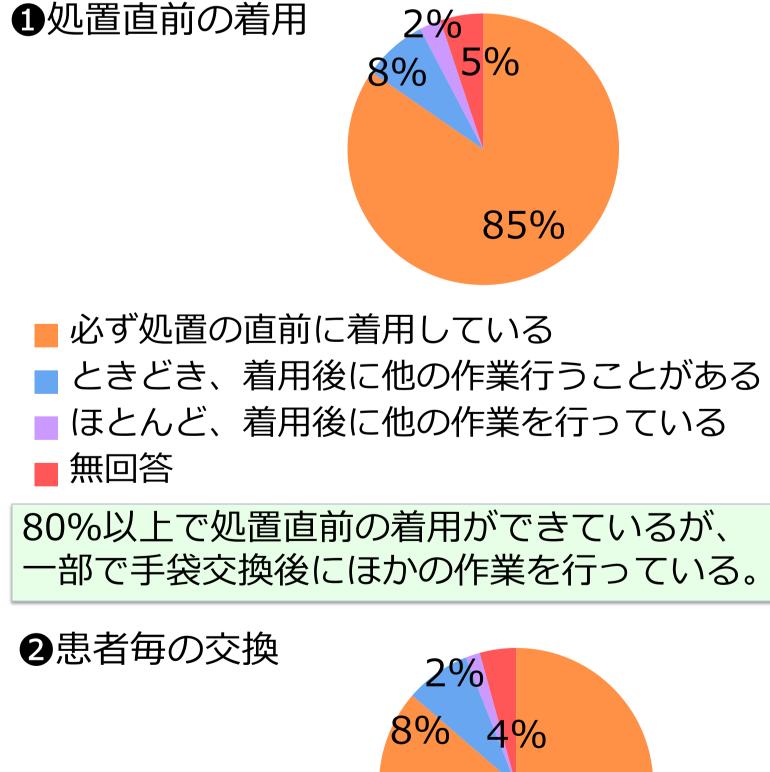


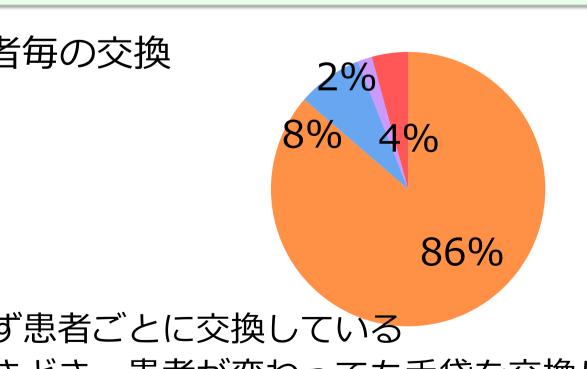
*血液や体液などの飛散が予測されると回答のあった眼科処置

切開・生検・手術介助中	19
涙管通水	11
点眼	10
診療介助時(血性流涙、創・外傷処置)	9
洗眼	6
眼内注射	6
ガーゼ交換(眼帯含む)	5
結石・偽膜・異物除去	4
ブジー	2
前房穿刺	1
淚道内視鏡	1
眼脂の多い患者	1
血清点眼作成時	1
診療に使用した器具の洗浄、消毒時	1

30%を超える回答者が眼科特有の『涙管通水』や『点眼』処置で、 血液や体液などの飛散が予測される場面と回答。

②ディスポーザブル手袋の着用について





■必ず患者ごとに交換している

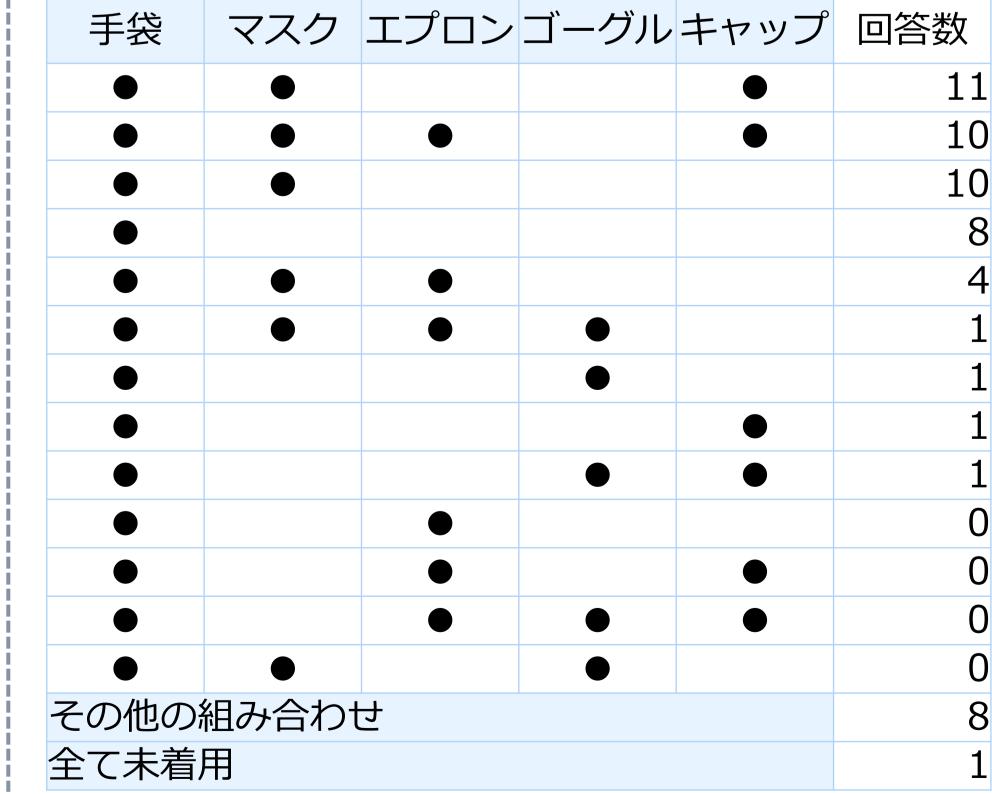
■ ときどき、患者が変わっても手袋を交換しない。 ■ ほとんど、患者が変わっても手袋交換はしない ■無回答

80%以上で患者毎の手袋交換を実践している。

③器材再処理時の洗浄スタッフのPPE着用



*洗浄時のPPE着用の組み合わせ;使用しているPPE●(人)



■◆結論◆■

- ・ガイドブックを参照し現場での感染対策を確認しながらアンケートに回答することで、日常の手指衛生や実態を再確認することができ、 適正な手指衛生の実践は必要不可欠であるが、十分でない部分があると認識していた。
- ・診療や処置、器材洗浄の際に血液等の飛散リスクを認識しているが、器材の再処理時にはマスクやエプロンの使用頻度が少ないことから、 汚染水の飛沫を防護するための適切な対応が実施されていないことが推測される。
- ・手指衛生およびPPE着用など、今回の調査で得られた結果を意識した感染対策を実施する必要がある。